

●水深が深いのでしっかり仕掛けを動かそう



●派手な乗りはなかったが2〜3点掛けはしはし



●スルメとヤリイカのダブルもあった



●胴長20〜25センチ前後の中型が多かった



●ヤリイカはブラッソ11センチ。赤白スツノも効果あり



●春になれば下力乗りにも期待できる

# 槍烏賊

YARI-IKA  
NAMBO  
SUNOSAKI



●南房のヤリイカもこれから本格期



▲反応に間に合うよう合図と同時に素早く投入しよう

▼この時期に釣れるスルメはお楽しみの一つ



## スルメ交じりで好模様 洲ノ崎沖のヤリイカ順調

南房洲ノ崎栄ノ浦港出船

撮影●粕川晃



▲朝イチはスルメを狙うことが多い

今シーズンの沖イカは各地で初期から順調だが、ここ南房洲ノ崎沖もトップ20〜40杯前後と安定した釣果が続いている。釣り場の水深は150〜200メートル前後。このエリアのお楽しみであるスルメイカも交じり始めており、ブラッソは11センチのほか18センチもあるといい。

取材日の釣り場は洲ノ崎沖が中心だったが、今後は状況で白浜沖なども狙うようになる。春ヤリシーズン本番へ向けて視界は良好だ。

(詳細は48ページ参照)



▲当日は洲ノ崎沖の水深150〜200メートル前後を狙った



▲状況に対応できるよう各種仕掛けを用意しておこう。オモリは150号



●南房洲ノ崎栄ノ浦港・早川丸  
早川 勝巳船長